

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年10月29日

【四半期会計期間】 第16期第1四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 株式会社アイスタイル

【英訳名】 istyle Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉松 徹郎

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂一丁目12番32号

【電話番号】 03(5575)1260

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 菅原 敬

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂一丁目12番32号

【電話番号】 03(5575)1260

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 菅原 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期連結累計期間	第16期 第1四半期連結累計期間	第15期
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日
売上高 (千円)	1,665,220	2,098,125	7,141,247
経常利益 (千円)	48,380	177,075	460,186
四半期(当期)純利益 (千円)	11,542	91,861	14,149
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	25,231	11,947	249,801
純資産額 (千円)	4,003,644	4,120,579	4,246,406
総資産額 (千円)	5,481,578	5,902,039	5,758,651
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	0.79	6.29	0.97
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	0.77	6.18	0.94
自己資本比率 (%)	72.5	69.2	73.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

(マーケティング事業)

当第1四半期連結会計期間において、ビューティー・トレンド・ジャパン株式会社の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間(平成26年7月1日～平成26年9月30日)の業績は、下記のとおりです。

売上高	2,098,125千円	(前年同期比	26.0%増)
営業利益	181,686千円	(前年同期比	268.4%増)
経常利益	177,075千円	(前年同期比	266.0%増)
税金等調整前四半期純利益	176,207千円	(前年同期比	264.2%増)
四半期純利益	91,861千円	(前年同期比	695.8%増)

前連結会計年度に実施した事業譲受や、当第1四半期連結累計期間において企業買収を行ったことから、人材関連費用を中心に販売管理費が増加いたしました。しかしながら、販売管理費増以上に収益が増加したことから、利益は大きく改善いたしました。

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

マーケティング事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、一部のクライアントの出稿意欲に回復がみられ、バナー広告の売上が計画以上に推移いたしました。また、イベント開催や広告売上の前倒しがあり、一時的な収益増となりました。

一方で、サービスの拡大を図るため、「グロッシーボックス」を展開するビューティー・トレンド・ジャパン株式会社の全株式を取得し、平成26年8月より連結対象といたしました。現在収益は出ておりませんが、「@cosme」を始めとする既存サービスとの連携強化による収益改善を目指してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,116,771千円(前年同期比31.9%増)、セグメント利益は113,046千円(前年同期比860.8%増)となりました。

小売事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、EC・店舗売上共に順調に成長いたしました。店舗につきましては、前第2四半期にswitch池袋店を閉店し、同第3四半期にはプランタン銀座店の閉店とルミネ有楽町店の閉店を行いました。それにより、前年同期比1店舗減となりましたが、ルミネ有楽町店が大規模店舗であることから、売上は大きく増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は835,502千円(前年同期比26.5%増)、セグメント利益は64,513千円(前年同期比48.5%増)となりました。

美容事業支援事業

エステサロンの予約サイト「ispot」におきましては、前連結会計年度に実施したサービスメニューの変更により収益が低下しておりますが、その後の戦略の見直しにより徐々に改善の傾向がみられております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は145,851千円（前年同期比7.8%減）、セグメント損失は3,046千円（前年同期はセグメント損失15,318千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ143,388千円増加し5,902,039千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ148,163千円増加し3,598,991千円となりました。これは主に、現金及び預金が130,430千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,775千円減少し2,303,048千円となりました。これは主に、有形固定資産2,201千円及び無形固定資産64,030千円が増加したものの、投資その他の資産が71,006千円減少したこと等によるものであります。

負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ269,214千円増加し1,781,459千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ22,745千円増加し1,173,475千円となりました。これは主に、買掛金が96,693千円増加したものの、未払法人税等が66,521千円減少したこと、賞与引当金が13,753千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ246,468千円増加し607,984千円となりました。これは主に、銀行借入れを行ったため長期借入金が268,129千円増加したこと等によるものであります。

純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ125,826千円減少し4,120,579千円となりました。

これは主に、利益剰余金が91,861千円増加したものの、自己株式を142,655千円取得したこと、その他有価証券評価差額金が77,187千円減少したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	41,000,000
計	41,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月29日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,903,800	14,903,800	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、 権利内容に何ら制限のない 当社の標準となる株式 であります。また、単元 株式数は100株となって おります。
計	14,903,800	14,903,800		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日 ～平成26年9月30 日 (注)	30,800	14,903,800	1,071	1,579,074	1,056	1,350,414

(注) 新株予約権等の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 476,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,426,700	144,267	
単元未満株式	普通株式 1,000		
発行済株式総数	14,903,800		
総株主の議決権		144,267	

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アイスタイル	東京都港区赤坂一丁目12番32号	476,100		476,100	3.19
計		476,100		476,100	3.19

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,950,540	2,080,970
受取手形及び売掛金	1,153,737	1,079,663
商品	234,125	270,313
その他	120,548	175,069
貸倒引当金	8,124	7,026
流動資産合計	3,450,827	3,598,991
固定資産		
有形固定資産	337,131	339,332
無形固定資産		
のれん	49,368	79,074
ソフトウェア	631,390	670,052
その他	60,947	56,608
無形固定資産合計	741,705	805,736
投資その他の資産		
投資有価証券	939,795	848,199
その他	289,191	309,779
投資その他の資産合計	1,228,986	1,157,979
固定資産合計	2,307,824	2,303,048
資産合計	5,758,651	5,902,039
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,040	362,733
1年内返済予定の長期借入金	211,984	168,935
未払法人税等	136,559	70,038
賞与引当金	47,300	33,546
その他	488,846	538,222
流動負債合計	1,150,730	1,173,475
固定負債		
長期借入金	329,332	597,461
その他	32,183	10,523
固定負債合計	361,515	607,984
負債合計	1,512,245	1,781,459

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,578,002	1,579,074
資本剰余金	1,514,942	1,515,998
利益剰余金	897,913	989,774
自己株式	37,660	180,316
株主資本合計	3,953,197	3,904,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,735	139,547
為替換算調整勘定	42,052	39,268
その他の包括利益累計額合計	258,787	178,815
新株予約権	10,312	13,066
少数株主持分	24,108	24,166
純資産合計	4,246,406	4,120,579
負債純資産合計	5,758,651	5,902,039

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,665,220	2,098,125
売上原価	610,393	848,618
売上総利益	1,054,827	1,249,506
販売費及び一般管理費	1,005,508	1,067,820
営業利益	49,318	181,686
営業外収益		
受取利息	297	912
受取手数料	746	
その他	969	2,032
営業外収益合計	2,013	2,944
営業外費用		
支払利息	800	1,092
為替差損	2,120	3,769
投資有価証券評価損		1,665
その他	30	1,028
営業外費用合計	2,951	7,556
経常利益	48,380	177,075
特別損失		
事務所移転費用		868
特別損失合計		868
税金等調整前四半期純利益	48,380	176,207
法人税等	37,827	84,287
少数株主損益調整前四半期純利益	10,553	91,919
少数株主利益又は少数株主損失()	989	58
四半期純利益	11,542	91,861

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,553	91,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		77,187
為替換算調整勘定	14,677	2,784
その他の包括利益合計	14,677	79,971
四半期包括利益	25,231	11,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,220	11,889
少数株主に係る四半期包括利益	989	58

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 当第1四半期連結会計期間において、ビューティー・トレンド・ジャパン株式会社の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
減価償却費	85,153千円	85,182千円
のれんの償却額	4,077千円	5,242千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、当第1四半期連結累計期間において、平成26年8月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が142,655千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が180,316千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注)1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (千円)
	マーケティング 事業(千円)	小売事業 (千円)	美容事業支援 事業(千円)	合計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	846,467	660,490	158,263	1,665,220		1,665,220
セグメント間の 内部売上高又は振替高			202	202	202	
計	846,467	660,490	158,465	1,665,423	202	1,665,220
セグメント利益又は損失 ()	11,765	43,446	15,318	39,894	9,424	49,318

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9,424千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注)1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (千円)
	マーケティング 事業(千円)	小売事業 (千円)	美容事業支援 事業(千円)	合計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,116,771	835,502	145,851	2,098,125		2,098,125
セグメント間の 内部売上高又は振替高	650		471	1,121	1,121	
計	1,117,421	835,502	146,322	2,099,246	1,121	2,098,125
セグメント利益又は損失 ()	113,046	64,513	3,046	174,513	7,173	181,686

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7,173千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、当第1四半期連結会計期間から報告セグメントを従来の「メディア事業」、「EC事業」、「店舗事業」及び「その他事業」の4区分から、「マーケティング事業」、「小売事業」及び「美容事業支援事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成した情報につきましては、「前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)」の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0.79円	6.29円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	11,542	91,861
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	11,542	91,861
普通株式の期中平均株式数(株)	14,598,315	14,604,051
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	0.77円	6.18円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	370,408	259,351
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月29日

株式会社アイスタイル
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉村 孝郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山本 恭仁子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイスタイルの平成26年7月1日から平成27年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイスタイル及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。